

史跡飯田古墳群保存活用計画

令和2(2020)年3月

長野県飯田市教育委員会

序

飯田下伊那地域は、古くから古墳が密集する地域として知られていましたが、近年の発掘調査で、その実態が次第に明らかとなってきました。そこで、飯田市教育委員会では、文化庁、長野県教育委員会の指導・助言を受け、市域に所在する古墳の保存活用を目的に、平成17・18年度には「市内主要古墳総合調査研究事業」、平成22・23年度には「市内主要古墳保存活用事業」を実施し、歴史的価値の顕在化に努めてまいりました。その結果、当市域に所在する前方後円墳と帆立貝形古墳を核とする古墳を一体性のある古墳群として捉えることにより、古墳時代にヤマト王権を中心とした政治体制の変革や東国経営のあり方、中央と地方との関係性をみる事ができるという認識に至りました。そこで、その一体性のある古墳群を後世に保存継承するために、条件の整った前方後円墳11基と帆立貝形古墳2基の計13基について、平成28年1月に文部科学大臣に史跡指定の意見具申を行い、平成28年10月3日に「史跡飯田古墳群」として指定されました。

本計画書は、史跡飯田古墳群の価値を明らかにするとともに、その価値を構成する諸要素を適切に保存管理していくための方針及び基準、史跡の価値をより高め、魅力を伝えるための活用・整備の方針及び方法、さらに今後の管理運営体制の方針を定めたものです。計画策定にあたり「史跡飯田古墳群専門委員会」を設置し、委員として、古代や古墳の研究者、造園学の専門家のほか、史跡が所在する座光寺・上郷・松尾・竜丘各地区の地域自治組織や古墳の保護団体からも参画いただきました。委員会は、平成29年度から令和元年度までの長期にわたるものとなりましたが、毎回多くのご意見をいただき、議論を重ねてまいりました。

飯田古墳群が国の史跡として指定されたのは、その歴史的価値が認められたことはもちろんですが、地域の皆様が古墳を地域の大切なシンボルとして、現在まで守り伝えられてきた結果にほかなりません。

今後は、本計画に基づき、史跡飯田古墳群を「地域の宝」として後世に守り伝えるとともに、地域の個性や魅力を形づくる貴重な歴史資産として、史跡の多様性を活かした活用・整備を進めてまいります。さらに、ふるさと意識の醸成や地域を担う人材育成に繋げるためにも、地域の皆様をはじめとする多くの方々と連携・協働して、体制の整備を進めてまいります。

最後になりましたが、本保存活用計画の策定にあたり、多角的な視点で充実したご議論をいただいた史跡飯田古墳群専門委員会の委員の皆様、指導・助言をいただいた文化庁及び長野県教育委員会の関係職員の皆様方に感謝申し上げます。

令和2年3月

飯田市教育委員会

教育長 代 田 昭 久

例 言

1. 本書は、長野県飯田市に所在する史跡飯田古墳群の保存活用計画書である。
2. 本事業は、平成29年度から令和元年度までの3か年にわたり、飯田市教育委員会を事業主体として実施した。なお、平成29年度から令和元年度は、国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（史跡等保存活用計画等策定）、令和元年度は、上記に加え、長野県文化財保護事業補助金（県随伴補助）を受けて実施した。
3. 事業実施にあたっては、史跡飯田古墳群専門委員会を設置し、文化庁、長野県教育委員会の指導・助言を受けて協議を重ね、飯田市教育委員会が策定した。なお、史跡飯田古墳群専門委員会の委員については、「第Ⅰ章3節委員会の設置・経緯」に示した。
4. 本書の「第Ⅲ章1節自然的環境」については、史跡飯田古墳群専門委員会の市澤英利委員が執筆し、事務局が編集した。
5. 本書の構成は、本文中に図版・表・写真を掲載し、本文末には引用・参考文献、巻末資料として史跡飯田古墳群として指定された13基の古墳の個別古墳概要を掲載した。さらに、参考資料として、飯田古墳群のうち史跡指定されていない9基の古墳の個別古墳概要（参考資料1）、史跡指定された古墳の個別古墳土地利用現況図（参考資料2）、関連法令等（参考資料3）をCDに収録した。
6. 本書で使用している図面類は、飯田市所有の飯田市都市計画基本図（1/2,500）、飯田市全図（1/25,000）、飯田都市計画図（平成29〈2017〉年現在）、飯田市土地利用現況図（平成27〈2015〉年現在）を使用して調整したものである。
【承認番号】 29飯地計第291号、29飯地計第365号、29飯地計第391号
7. 本書で使用した写真は、飯田市教育委員会が所有している。なお、巻末資料で使用した市村文庫の写真は、公益社団法人下伊那教育会が所有するものである。
8. 本書の内容について、広く意見を求めるために、令和元年12月20日から令和2年1月20日まで、『史跡飯田古墳群保存活用計画』（原案）に関するパブリックコメントを実施した。
9. 本計画の策定に係る事務は、飯田市教育委員会生涯学習・スポーツ課文化財活用係が行った。

凡 例

本書の記載にあたっては、以下のとおり用語を定義する。

1. 古墳群の名称と内容について

(1) 「飯田古墳群」と「史跡飯田古墳群」について

「飯田古墳群」とは、飯田市域に所在する前方後円墳22基と帆立貝形古墳5基を指す。

「史跡飯田古墳群」とは、史跡に指定された前方後円墳11基と帆立貝形古墳2基を指す。なお、指定時の官報告示（平成28年10月3日付け、文部科学省告示第140号）には個別古墳名の記載はなく、古墳の所在地（地番）のみが記されている。

飯田古墳群の内訳は下表（表 飯田古墳群一覧）のとおりで、網掛けした古墳が史跡に指定されている。

表 飯田古墳群一覧

単位群	古墳名	形状	埋葬施設	時期	備考
座光寺	たかおかだい ごう こふん 高岡第1号古墳	前方後円墳	横穴式石室	6世紀前半	史跡・現存
	きたほんじょう こふん 北本城古墳(※1)	前方後円墳	横穴式石室	6世紀初頭	削平
	あらいばら こふん 新井原12号古墳(※1)	帆立貝形古墳	竪穴式石室	5世紀後半	ほぼ削平
上郷	いぬまてんじんづか うんさいじ こふん 飯沼天神塚（雲彩寺）古墳	前方後円墳	横穴式石室	6世紀前半	史跡・現存
	ばんしんづか こふん 番神塚古墳(※2)	前方後円墳	不明	不明	所在不明
	みぞぐち つか こふん 溝口の塚古墳(※1)	前方後円墳	竪穴式石室	5世紀後半	削平
松尾	みさやま ししづか こふん 御射山獅子塚古墳	前方後円墳	横穴式石室(推定)	5世紀末～6世紀	史跡・現存
	おかんづか こふん おかん塚古墳	前方後円墳	横穴式石室	6世紀後半	史跡・現存
	ひめづか こふん 姫塚古墳	前方後円墳	横穴式石室	6世紀前半	史跡・現存
	あげみぞてんじんづか こふん 上溝天神塚古墳	前方後円墳	横穴式石室	6世紀中葉	史跡・現存
	みさじろ ししづか こふん 水佐代獅子塚古墳	前方後円墳	石室	5世紀後半	史跡・現存
	ちやがらやま ごう こふん 茶柄山3号古墳(※1)	前方後円墳	竪穴式石室	5世紀後半	ほぼ削平
	やわたやま こふん 八幡山古墳	帆立貝形古墳	不明	5世紀	現存
	しろだ ししづか こふん 代田獅子塚古墳	前方後円墳	不明	5世紀後半	現存
竜丘	おおつか こふん 大塚古墳	前方後円墳	竪穴式石室(推定)	5世紀後半	史跡・現存
	かがみづか こふん 鏡塚古墳	帆立貝形古墳	竪穴式石室(推定)	5世紀後半	史跡・現存
	よろいづか こふん 鎧塚古墳	帆立貝形古墳	竪穴式石室(推定)	5世紀後半	史跡・現存
	つかばら ふたごづか こふん 塚原二子塚古墳	前方後円墳	竪穴式石室(推定)	5世紀末	史跡・現存
	ませづか こふん 馬背塚古墳	前方後円墳	横穴式石室	6世紀末	史跡・現存
	おきるどう こふん 御猿堂古墳	前方後円墳	横穴式石室	6世紀中葉	史跡・現存
	つかごし ごう こふん 塚越1号古墳	前方後円墳	横穴式石室	6世紀後半	現存
	ごんげんどう ごう こふん 権現堂1号古墳	前方後円墳	不明	5世紀後半	現存

単位群	古墳名	形状	埋葬施設	時期	備考
竜丘	まるやま こふん 丸山古墳	前方後円墳	竪穴式石室(推定)	5世紀後半	現存
	けんせいづか こふん 兼清塚古墳	前方後円墳	竪穴式石室(推定)	5世紀後半	現存
	つかばら ごう こふん 塚原3号古墳	帆立貝形古墳	竪穴式石室(推定)	5世紀後半	現存
	かなやま ふたごづか こふん 金山二子塚古墳	前方後円墳	横穴式石室	6世紀前半	現存
川路	くぼた ごう こふん 久保田1号古墳	前方後円墳	横穴式石室(推定)	6世紀初頭	現存

※1 緊急調査（記録保存調査）終了後に削平されているか、もしくはほとんど旧状を留めていない古墳。

※2 『下伊那史』第1巻に前方後円墳として記載があるが、所在地が特定されておらず、築造時期も含めて実態は不明。

(2) 「飯田市域の古墳」について

「飯田市域の古墳」とは、飯田市内に所在する古墳を指す。周知の埋蔵文化財包蔵地として遺跡地図※に掲載されている古墳は、史跡に指定されている13基を含めて521基ある。

※ 飯田市教育委員会 2015作成（2019改訂）『飯田市埋蔵文化財包蔵地地図（市内遺跡詳細分布調査報告書）』

2. 用語の使い分けについて

(1) 用語については、飯田市教育委員会刊行の『飯田古墳群』等の報告書に拠っている。

(2) 「第二章 史跡飯田古墳群の概要」の中で引用した文化審議会答申（「(8) 指定理由」）及び『月刊文化財』（「2. 史跡飯田古墳群の評価」）で使用されている用語のうち、引用文以外で使用している用語と異なるものは以下のとおりである。

①山脈の呼称について

引用文では「中央アルプス」、「南アルプス」と記載しているが、引用文以外では学術的側面を勘案し、通称である「アルプス」の呼称ではなく、「木曾山脈」、「赤石山脈」を用いた。なお、「北アルプス」は「飛騨山脈」を用いた。

②「単位群」について

引用文では「グループ（単位群）」と記載しているが、引用文以外では「単位群」に統一した。

③「大和政権」と「ヤマト王権」について

引用文では「大和政権」と記載しているが、引用文以外では「ヤマト王権※」を用いた。

※「ヤマト」は、古墳時代の漢字表記が確定していないことから、読みだけを表すカタカナで表記した。また、「王権」は、大王を中心とする権力の中枢部を指す。

④「帆立貝形前方後円墳」と「帆立貝形古墳」について

引用文では「帆立貝形前方後円墳」と記載しているが、引用文以外では「帆立貝形古墳」を用いた。

(3) 本書作成にあたって、新たに使用している用語は以下のとおりである。

①古墳に関する記述の際には「盛り土」を用い、工事等に伴う地形改変（造成等）については「盛土・切土」を用いた。

②「周溝」は墳丘の周囲を巡る溝、「外周区画溝」は周溝の外側を区画する溝を指す。なお、巻末資料1で示した推定復元図では、今後実施する発掘調査の目安とするため、いずれも全周するものとして復元した。

目次

本文目次

序
例言
凡例

第Ⅰ章	保存活用計画策定事業の沿革と目的	1
1節	計画策定に至るまでの経緯	1
2節	計画策定の目的	1
3節	委員会の設置・経緯	1
1.	委員会の設置	1
2.	組織	3
3.	審議の経過	4
4.	地域との連携・協働・協議の経過	5
4節	飯田市の構想・計画との関係	5
第Ⅱ章	史跡飯田古墳群の概要	7
1節	史跡指定に至る経緯	7
2節	指定の状況	7
1.	指定内容	7
2.	史跡飯田古墳群の評価	9
3節	史跡指定地の現状	10
1.	史跡指定地の範囲	10
2.	史跡指定地の現状、土地所有区分	10
3.	史跡指定地に係る関連法令等	17
第Ⅲ章	飯田古墳群をとりまく環境	20
1節	自然的環境	20
1.	地理と地勢	20
2.	地形	20
3.	自然災害	24
4.	動植物	26
2節	歴史的環境	27
1.	旧石器時代～縄文時代の様相	27
2.	弥生時代の様相	27

3.	古墳時代の様相	29
4.	律令時代の様相	40
5.	中・近世の様相	42
3節	社会的環境	43
1.	飯田市の概要	43
2.	主な歴史文化資産	43
3.	社会教育施設等	43
4.	交通	44
第Ⅳ章	飯田古墳群を中心とする調査研究	46
1節	調査研究略史	46
1.	既存資料を中心とする調査研究	46
2.	発掘調査による新たな発見	46
3.	飯田古墳群の保護に向けた取組	47
2節	個別古墳概要	49
3節	小結—飯田古墳群の歴史的 position 付け	50
第Ⅴ章	史跡飯田古墳群の価値	51
1節	飯田古墳群の本質的価値	51
2節	飯田古墳群をとりまく古墳・遺跡の価値	53
3節	史跡飯田古墳群の構成要素	55
1.	構成要素の分類	55
2.	構成要素の内容	56
3.	構成要素の把握と整理	56
第Ⅵ章	史跡飯田古墳群の現状と課題	60
1節	保存管理	60
1.	指定地全体に係る保存管理の現状と課題	60
2.	構成要素ごとの保存管理の現状と課題	61
2節	活用	62
1.	指定地全体に係る活用の現状と課題	62
2.	構成要素ごとの活用の現状と課題	65
3節	整備	66
1.	指定地全体に係る整備の現状と課題	66
2.	構成要素ごとの整備の現状と課題	67

4 節	運営・体制の整備	68
第VII章	大綱	69
第VIII章	史跡飯田古墳群の保存管理	70
1 節	保存管理の方向性	70
2 節	構成要素ごとの保存管理の方法	71
3 節	現状変更等の取扱	73
1.	現状変更等について	73
2.	史跡指定地内における現状変更等の取扱基準	73
3.	史跡指定地外の周辺環境の取扱方針	79
4 節	災害等非常時の対応	80
1.	基本情報の取得と整理	80
2.	現況調査の方法	80
3.	災害等緊急事態発生に対する応急措置と連絡体制	81
4.	応急措置後の対応	81
5 節	追加指定の方針	84
1.	指定された古墳の保護を万全とするための追加指定	84
2.	史跡指定されていない飯田古墳群の追加指定	84
6 節	史跡指定地の公有地化の方針	84
7 節	出土遺物の取扱	91
第IX章	史跡飯田古墳群の活用	92
1 節	活用の方向性	92
2 節	活用の方法	92
1.	学校教育における活用	93
2.	大学等教育研究機関と連携した活用	93
3.	生涯学習における活用	94
4.	地域における活用	95
5.	観光資源としての活用	95
第X章	史跡飯田古墳群の整備	96
1 節	整備の方向性	96

2 節	整備の方法	96
1.	保存のための整備の方法	96
2.	活用のための整備の方法	97
第XI章	運営・体制の整備	99
1 節	運営・体制の整備の方向性	99
2 節	運営・体制の整備の方法	99
1.	史跡の管理団体による管理運営	99
2.	土地所有者等関係者の協力による適切な管理	100
3.	史跡が所在する4つの地区との連携・協働による管理運営	100
4.	行政の連携体制の整備	101
第XII章	実施計画	102
第XIII章	事業の進捗状況の点検(経過観察)	103
1 節	経過観察の方向性	103
2 節	経過観察の方法	103
引用・参考文献		106

巻末資料目次

巻末資料	史跡飯田古墳群個別古墳概要	109
------	---------------	-----

挿図目次

図1	飯田古墳群分布図	2
図2	史跡指定範囲及び土地所有区分図(1)	11
図3	史跡指定範囲及び土地所有区分図(2)	12
図4	史跡指定範囲及び土地所有区分図(3)	13
図5	史跡指定範囲及び土地所有区分図(4)	14
図6	史跡指定範囲及び土地所有区分図(5)	15
図7	史跡指定範囲及び土地所有区分図(6)	16
図8	飯田市土地利用現況図	18
図9	飯田市都市計画図	19

図10	飯田市域の地形区分模式図	21
図11	飯田市域の弥生時代後期の主な遺跡分布図	28
図12	飯田市域及び周辺の主な古墳分布図	30
図13	飯田市域の古墳時代前期～中期前半の主な遺跡分布図	34
図14	飯田市域の古墳時代中期後半～後期の主な遺跡分布図	36
図15	飯田市域の律令時代の主な遺跡(廃寺跡・窯跡含む)分布図	41
図16	交通・社会教育施設位置図	45
図17	構成要素の分類	55
図18	現状変更等の許可申請手続きの流れ	77
図19	災害等非常時の対応の流れ	82
図20	古墳の推定範囲図(1)	85
図21	古墳の推定範囲図(2)	86
図22	古墳の推定範囲図(3)	87
図23	古墳の推定範囲図(4)	88
図24	古墳の推定範囲図(5)	89
図25	古墳の推定範囲図(6)	90
図26	地域連携のイメージ	100
図27	事業推進体制のイメージ	101
図28	短期的な経過観察の流れ	104
図29	長期的な経過観察の流れ	105

表目次

表1	関連法令等一覧	17
表2	飯田古墳群を中心とする主な調査等一覧	47
表3	構成要素の内容	56
表4	古墳の構成要素整理表(1)	57
表5	古墳の構成要素整理表(2)	58
表6	古墳の構成要素整理表(3)	59
表7	指定地全体に係る保存管理の現状と課題	60
表8	構成要素ごとの保存管理の現状と課題	61
表9	指定地全体に係る活用の現状と課題	62
表10	構成要素ごとの活用の現状と課題	65
表11	指定地全体に係る整備の現状と課題	66

表12	構成要素ごとの整備の現状と課題	67
表13	運営・体制の整備の現状と課題	68
表14	構成要素ごとの保存管理の方法(1)	71
表15	構成要素ごとの保存管理の方法(2)	72
表16	古墳管理台帳(案)	72
表17	現状変更等の取扱基準	78
表18	古墳カルテ(案)	83
表19	実施計画	102
表20	短期的な事業の点検表(1)	104
表21	長期的な事業の点検表(2)	105

写真目次

写真1	史跡飯田古墳群専門委員会・現地視察	4
写真2	飯田古墳群を語る会	5
写真3	史跡恒川官衙遺跡保存活用計画・整備基本計画	6
写真4	史跡飯田古墳群が分布する竜西の遠景	22
写真5	市指定天然記念物「水佐代獅子塚のエドヒガン」(おたちふの桜)	26
写真6	笛吹2号古墳	29
写真7	羽場獅子塚古墳	29
写真8	北方西の原遺跡の積石塚	31
写真9	細新遺跡の古墳時代集落	33
写真10	郡衙域出土陶硯	40
写真11	神坂峠遠景	42
写真12	鈴岡城城跡(鈴岡城址公園)	42
写真13	飯田市美術博物館企画展	44
写真14	体験学習(勾玉づくり)	44
写真15	発掘調査した古墳・馬の埋葬土壌	49
写真16	溝口の塚古墳出土甲冑	51
写真17	おかん塚古墳の横穴式石室	52
写真18	宮垣外遺跡出土馬具	53
写真19	塚原古墳群から天竜川を望む	54
写真20	史跡恒川官衙遺跡から高岡第1号古墳を望む	54
写真21	古墳を活用した地域活動の事例(1)	63

写真22	古墳を活用した地域活動の事例(2)...	64
写真23	史跡紹介の事例.....	65
写真24	史跡の現況.....	67
写真25	横穴式石室の見学風景.....	93
写真26	地域活動の紹介.....	94
写真27	竜丘古墳まつり.....	95
写真28	保護団体によるガイド.....	95
写真29	飯田やまびこマーチ.....	95
写真30	多目的活用事例.....	97

参考資料(CD収録)

参考資料 1	飯田古墳群個別古墳概要(史跡指定 以外の古墳)	1
参考資料 2	史跡飯田古墳群個別古墳土地利用現 況図.....	25
参考資料 3	関連法令等.....	53